

安全上の注意

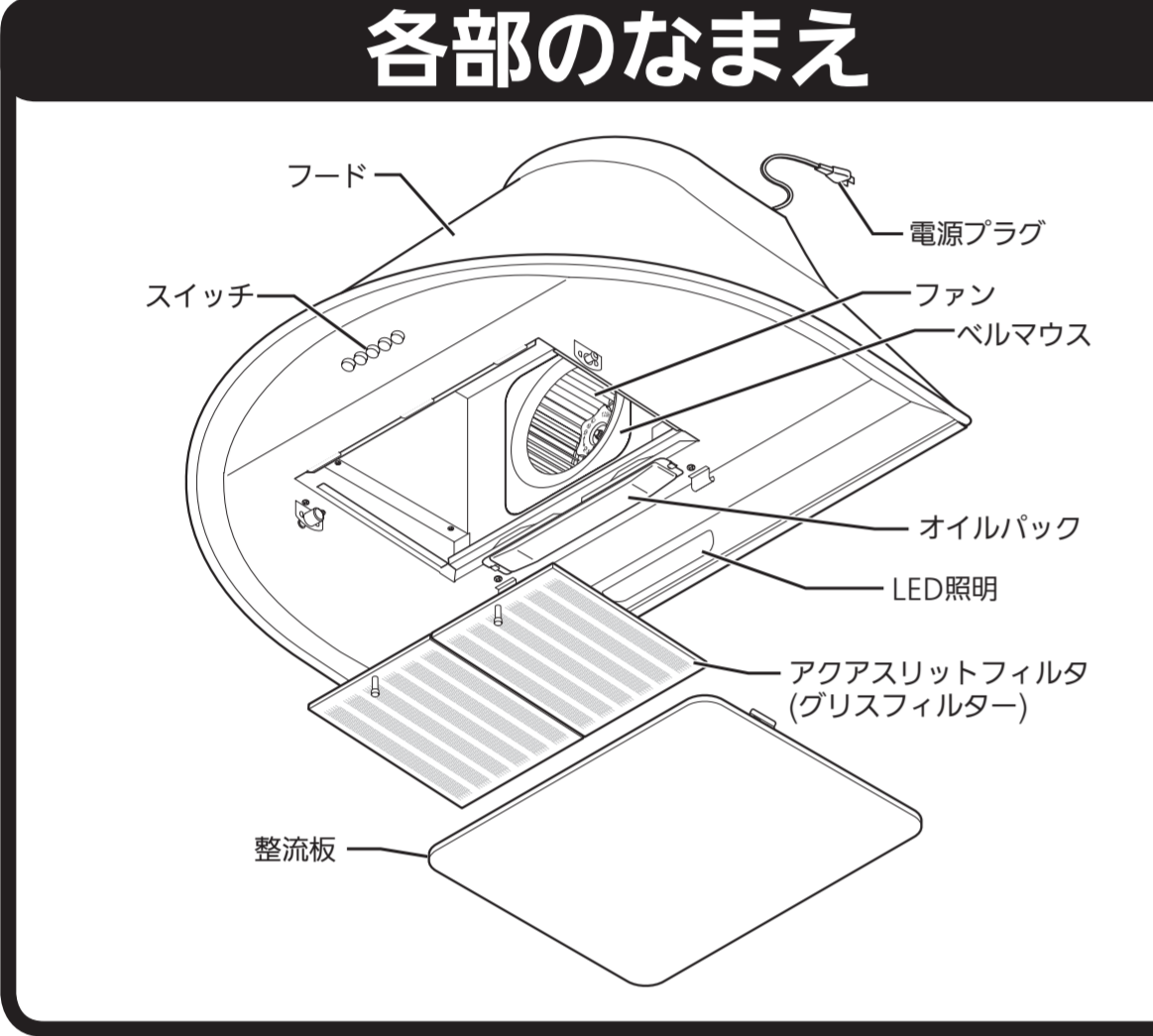
- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、誤った取り扱いをするときと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
【警告】人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
【注意】人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。
お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
絵表示の例
記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な有資格者が工事をおこなうこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること
● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと
● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください。
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
● 部屋の中央で調理される場合は油煙が捕集しきれず、建物が密閉されている場合は必ず、約400cm²程度の空気取入口を設けてください。
● 寒い地域ではダクトが結露し体内に結露水が流れる場合がありますので断熱材を巻くなどの対応をしてください。
● ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設けてください（目安：1/100〜1/50程度）。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

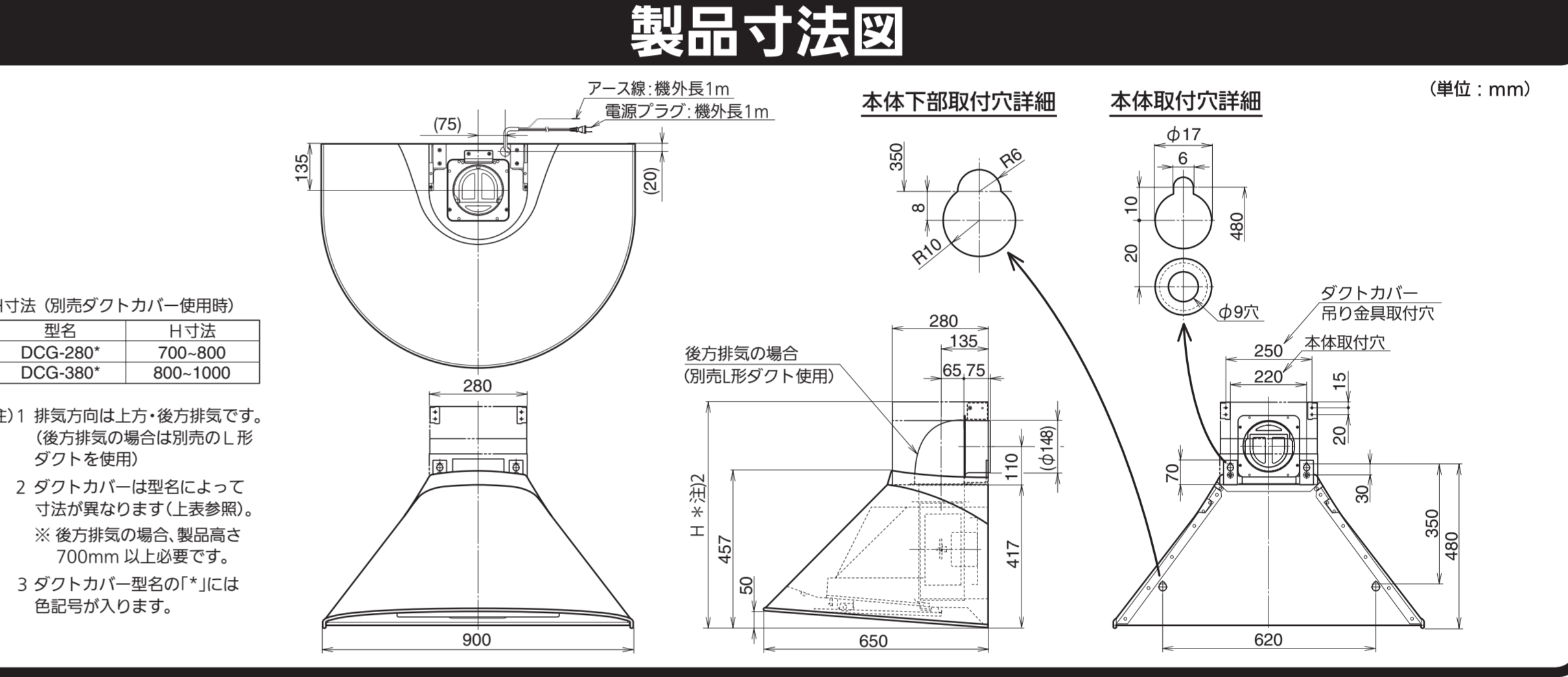
注意
● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けられないこと
● レンジフードは、薄板の金属部（壁内ララス網など）と接触しないよう取り付けすること
● 自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口（給気口）により十分な給気される配座をすること
● 取り扱いは必ず厚手の手袋をする
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 部品は落下によりけがをするおそれがあります
● 作業は2人以上でおこなうこと
● レンジフードは約20kgの重さがあります

取り付け上のおお願い
● 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的な有資格者が必要となります。
● ダクトの不燃処理について
● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
● 屋外壁面の排気出口に取り付けるベントキャップまたはパイプフードの通気抵抗は400m³/h時50Pa以下のものをご使用ください。
● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取り付けられないこと
● レンジフードの壁への埋め込みは50cm以上
● レンジフードの標準取付寸法は、調理機器の上面からレンジフードの下端まで80cm以上

取り付け前の調査と準備
● 周囲温度が40℃以上になるところには取り付けられないこと
● 落下によりけがをするおそれがあります
● 製品の強度確認
● 製品をえる強さが必要です
● 製品の重量
● コンクリート、タイル壁の場合
● 別売部品の準備
● 標準取付寸法
● 電源コンセント・ブレーカー



- 付属品
● 座付ねじ (φ5.1 × 45) 4本
● 引掛ねじ (φ5 × 35) 2本
● 排気口 1個
● ソフトテープ 1本



取り付けかた

1. 付属品の確認
【注意】
● 取り扱いは、必ず厚手の手袋をすること
● 付属品を確認します。

2. 排気方向の決定
【警告】
● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付けすること
● 排気工事をされる場合は、建築基準法（同施行令）および消防法などの関連法規に従って法的な有資格者が工事をおこなうこと
● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

3. 排気用部品の準備
● 上方排気の場合
● 後方排気の場合

4. 本体の取り付け
【注意】
● レンジフードの取り付けは、十分な強度のあるところを選んで確実におこなうこと
● 部品の取り付けは確実におこなうこと

5. ダクトと排気用部品の接続
【注意】
● ドリリングタップピンなど排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタップピン使用範囲以内に固定してください。

6. 電気配線
【警告】
● 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
● 交流100V以外では使用しないこと
● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的な有資格者が工事をおこなうこと
● アースを確実に取り付けること

7. 固定テープの取りはずし
1) 整流板を両手で支え、少し押し上げるようにして整流板の生糸にあるストッパーを押しはします
2) 整流板を両手で支えながら下へゆっくりとおろします
3) 整流板の後ろを持ち上げ、整流板用引掛金をはずします

8. 試運転
【注意】
● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
● 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください

9. お客様への説明
● 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください
● 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
TEL 042(768)3754 (営業部)

原寸大型紙

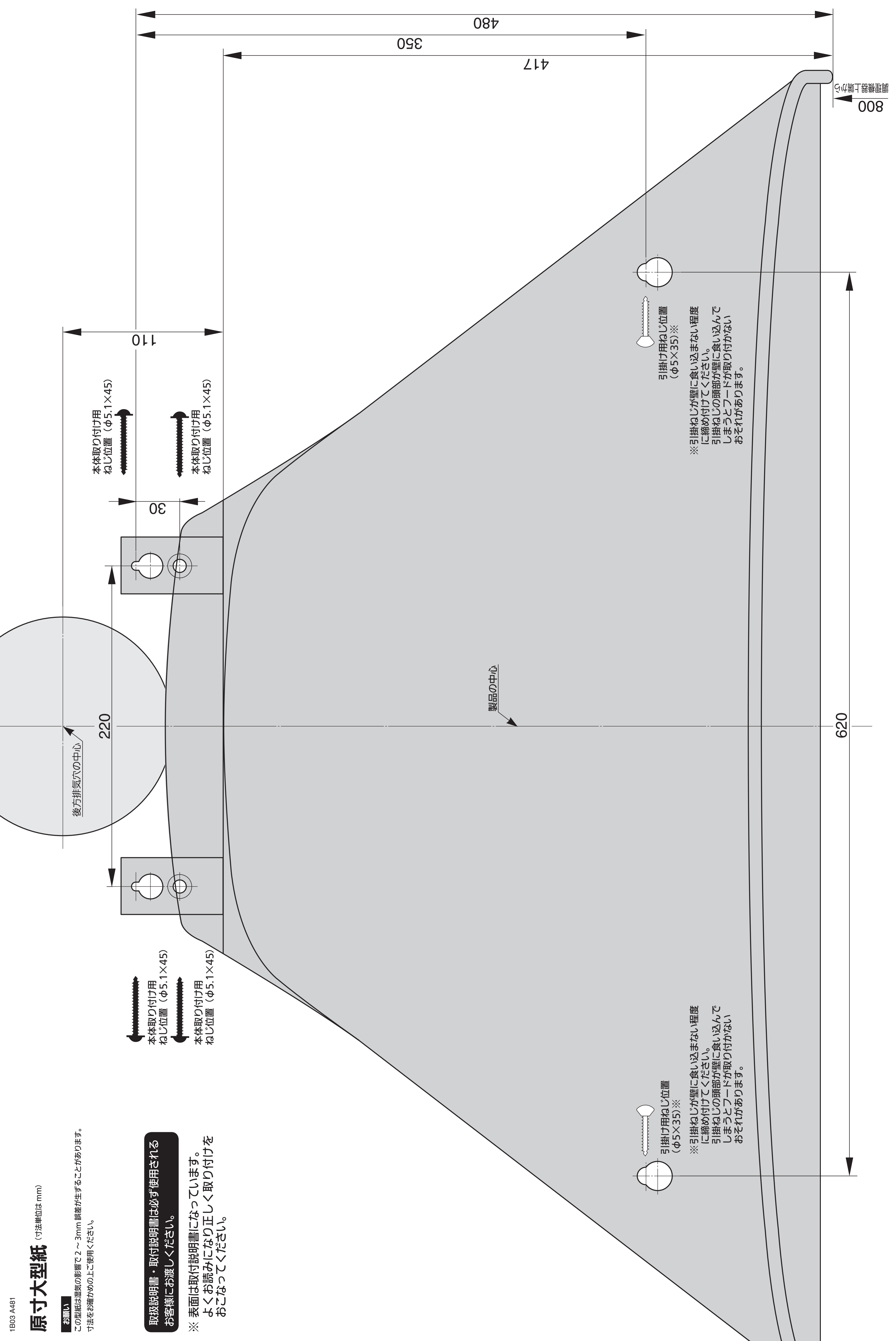
(寸法単位は mm)

お願い

この型紙は湿気の影響で 2 ~ 3mm 誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

取扱説明書・取付説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

※ 表面は取付説明書になっております。よくお読みになり正しく取り付けをおこなってください。



後方排気穴の中心

220

本体取り付け用
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用
ねじ位置 (φ5.1×45)

本体取り付け用
ねじ位置 (φ5.1×45)

30

110

350

417

480

620

800

調理機器上壁から

製品の中心

引掛け用ねじ位置
(φ5×35)※

※引掛ねじが壁に食い込まない程度に締め付けてください。引掛ねじの頭部が壁に食い込んでしまうとフードが取り付かないおそれがあります。

引掛け用ねじ位置
(φ5×35)※

※引掛ねじが壁に食い込まない程度に締め付けてください。引掛ねじの頭部が壁に食い込んでしまうとフードが取り付かないおそれがあります。